

施策分析シート（令和2年度）

No1

施策名	青壮年期の健康増進	施策No	01-01	部課名	健康部健康推進課		
				課長名	尾本	内線	429

関連部課名	健康部保健予防課						
-------	----------	--	--	--	--	--	--

行政評価 事業体系	分野	I	生涯健康都市				
	政策	01	生涯健康で生き生きと生活できるまちの実現				

目的	心身の健康は幸せな人生の礎であることから、健康的な生活習慣が形成されるよう、若いうちからの健康づくりの重要性を普及啓発し、生涯にわたり健康で充実した人生を送ることができるよう支援を行う。						
----	---	--	--	--	--	--	--

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		29年度	30年度	元年度	
①	運動の実施度	3.22	3.15	3.22	体を動かしたり運動したりすることができていると思いますか？
②	健康的な食生活の実感度	3.39	3.42	3.42	健康的な食生活を送ることができていると感じますか？
③	体の休息度	3.26	3.29	3.32	体を休めることができていると感じますか？
④	心の安らぎの実感度	3.50	3.50	3.58	心が安らぐ時間を持つことができていると感じますか？

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度 見込み	目標値 (8年度)	
①	健康状態がよいと感じる区民の割合	38.7	42.4	44.1	45.0	45.0	GAH調査
②	健康寿命（男性・歳）	80.5	80.5	80.6	80.7	83.0	65歳健康寿命（65歳の平均自立期間に65を加算した数値）
③	健康寿命（女性・歳）	82.6	82.6	82.7	82.8	83.1	65歳健康寿命（65歳の平均自立期間に65を加算した数値）
④	早世指標（男性）	81.3	74.2	72.9	72.0	70.0	40～64歳の死亡で全国（平成12年）を100とした場合の数値
⑤	早世指標（女性）	68.3	82.4	102.6	90.0	60.0	40～64歳の死亡で全国（平成12年）を100とした場合の数値

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額	30年度		元年度	差額		
行政費用	給与関係費	244,107	225,996	▲ 18,111	地方税	0	0	0	
	物件費	295,243	303,479	8,236	国庫支出金	5,043	5,160	117	
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	19,855	22,828	2,973	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	5,121	4,541	▲ 580	使用料及び手数料	3,355	3,117	▲ 238	
	減価償却費	17,153	17,004	▲ 149	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	28,253	31,105	2,852	
	賞与・退職給与引当金繰入額	17,237	30,999	13,762	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 550,608	▲ 550,914	▲ 306	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	578,861	582,019	3,158	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 550,608	▲ 550,914	▲ 306	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 550,608	▲ 550,914	▲ 306	

貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目			
	30年度	元年度	差額	30年度		元年度	差額		
流動資産	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	11,219	10,249	▲ 970	
固定資産	有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
	土地	0	0	0	固定負債	136,214	127,838	▲ 8,376	
	建物	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	136,214	127,838	▲ 8,376	
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	147,433	138,087	▲ 9,346	
	無形固定資産	140	126	▲ 14	正味財産	▲ 83,625	▲ 91,282	▲ 7,657	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 83,625	▲ 91,282	▲ 7,657	
	その他の固定資産	63,668	46,679	▲ 16,989	負債及び正味財産の部合計	63,808	46,805	▲ 17,003	
	資産の部合計	63,808	46,805	▲ 17,003					

財務諸表に関する特徴的事項等

- 行政費用の主な内訳は、物件費が52.1%、次いで給与関係費38.8%であり、物件費の中ではがん検診費が多くを占めている。
- 行政収入は都支支出金73.4%、国庫支出金16.6%、使用料及び手数料10.0%となっている。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○令和元年度GAH調査によると、健康状態が良いと感じる区民の割合は44.1%となっている。また、前期基本計画策定時（平成18年度）と比べ、健康寿命、早世指標ともに改善傾向となっているが、目標値までには更なる努力が必要である。</p> <p>○一方で、糖尿病が重症化し人工透析が必要な患者の数は増加傾向となっている。がん検診の受診率は改善傾向にあるが、国が示したがん検診受診率の目標値である50%と比較すると、低くなっている。また、近年では、高齢化の進展とともに運動器の障害によって要支援・要介護となる人の割合が多くなっている。</p> <p>○がんは、検診によって早期発見が可能であり、早期であれば治癒率も高く経済的な負担も軽減される。受診率向上のためにも、がん予防・健康づくりセンターでの検診のほかに、平成29年7月から胃内視鏡検診を医療機関で実施することとし、検診機会の拡充に努めた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症が、世界的な大流行となり、全国的な緊急事態宣言の発令もなされた。都内でも多くの患者が発生し、感染不安の増大、不要不急の外出自粛が求められる中での運動量低下、社会的つながりの持ちにくさ等、心身の健康に関しても厳しい状況となっている。従来の集合形式での各種健診事業や講演会・講座の開催から、「三密」を避ける”新たな生活様式”での保健事業の実施が求められ、健診事業の延期や講演会の休止等の対応を行っている。</p>
課題	<p>○新型コロナウイルス感染症流行の長期化により、従来の健康づくり施策の実施が困難になること、感染者の増加による健康状態の悪化等から、健康寿命の伸びは鈍化・停滞する可能性がある。</p> <p>○糖尿病は、三大合併症だけではなく、がんや認知症、低出生体重児出生、歯周病等、全身への影響も大きいものの、区民の認知度は高いとは言えない。</p> <p>○外出自粛による高齢者のフレイルの進展やすべての世代における運動量低下から、ロコモティブシンドロームだけではなく、フレイル予防対策の強化も喫緊の課題となっている。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症流行の長期化による、自覚的健康度の低下やメンタル不調への対策強化も必要である。</p> <p>○講演会、講座等による区民への情報伝達が難しくなっており、代替方法の検討が求められる一方、対面でなければ効果が得られにくい妊婦面接や虐待予防相談等もある。</p>
今後の方向性	<p>○全ての区民が健康を実感できるまちを目指し、特に「健康寿命の延伸」と「早世の減少」のための取組を重点的に進めていく。健康寿命を延伸するための取組としては、全ての生活習慣病につながると言われていた糖尿病対策と併せて、要支援・要介護要因の1位となっているロコモ対策に取り組む。青壮年期からの運動習慣とより良い生活習慣獲得のための普及啓発を進めるとともに、医療機関等と連携した予防から治療まで一貫した対策を進める。また、早世を減らすための取組としては、がんを予防する生活習慣や、がんになり患った際の生活や治療についての正しい知識の普及啓発を進めるとともに、がんの早期発見のために積極的な受診の勧奨を行う。こころの健康については、正しい知識や対処方法を普及啓発し、医療機関や相談機関で早い段階で支援が受けられるよう、専門医による精神保健相談や保健師による相談を充実させる。また、心身共に健康であるために「バランスのとれた食生活」、「十分な睡眠」、「適度な運動」の重要性について普及啓発を進める。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症流行下での、高齢者のフレイル予防対策、青壮年の健康づくり対策の在り方を検討する。特に、手法については、事業目的によりICTの活用促進と対面や人的交流の活用を使い分け、現状にあった手法を模索することにより、健康寿命の延伸に向けて引き続き努力を重ねる。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
2年度	3年度	
重点的に推進	重点的に推進	<p>区民の幸せの基盤となる健康を保持、増進することは区の重要課題であり、来るべき本格的な少子・高齢化社会に向け、医療費等の社会的コストの低減も欠かせない施策であることから当該施策の優先度は極めて高い。</p>

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		30年度	元年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
保健師地区活動	09-02-01	40,995	34,613	250	251	推進	推進	地域への訪問等の活動を通して地域特性を把握し、区民との協働や関係機関との連携により健康の保持・増進を進めるために欠かせない事業であるため、推進する。
健康づくり支援事業	09-02-02	12,560	14,441	1,946	1,819	重点的に推進	重点的に推進	早世予防と健康寿命の延伸という重要課題を解決するための事業であるため、重点的に推進する。
あらかわ満点メニュー	09-02-03	10,986	12,016	5,094	5,200	推進	推進	飲食店の食環境整備から家庭の改善へと拡大する必要がある。栄養・食生活に関する生活習慣及び社会環境の改善に関する目標にあげられている。（健康日本21（第2次）「健康な食事」の普及について）
受動喫煙防止・禁煙対策	09-02-04	3,621	12,492	989	4,374	重点的に推進	重点的に推進	健康寿命の延伸への効果が非常に高いとされていることから、重点的に推進する。
健康づくり普及啓発・環境整備事業	09-02-05	4,290	4,847	806	1,374	継続	継続	早世予防と健康寿命の延伸に関する具体的で正しい健康知識を得ることは、区民の主体的な健康行動への基盤となる事業であるため、継続して実施する。
女性の健康応援事業	09-02-07	6,555	7,415	4,173	4,347	推進	推進	女性のQOL（生活の質）の向上と早世予防を目的としている。女性の健康を促進することは子どもと家族の健康にもつながる事業であるため、推進する。
栄養相談活動	09-02-10	1,265	1,247	137	138	推進	推進	区民の健康増進を図るため、食生活の面から支援するうえで必要な事業として推進する。
成人歯科健康診査	09-02-11	7,718	8,957	6,966	8,217	改善・見直し	改善・見直し	区民の利便性を高め、かかりつけ歯科医を推進するために、実施方法について改善・見直しを検討する。
糖尿病対策推進事業	09-02-12	7,339	5,084	502	432	重点的に推進	重点的に推進	糖尿病の発症予防や重症化予防を普及啓発し、重症化予防のシステムを推進していくことは、生活の質の向上及び医療費抑制の観点から優先度が高い事業である。国保年金課事業等と連携して重点的に推進する。
特定給食施設講習会	09-02-30	1,562	1,901	58	52	継続	継続	給食施設の管理栄養士、栄養士に対して栄養管理の実施に関し必要な指導及び助言をすると定められている事業であるため、継続して実施する。（健康増進法22条）

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		30年度	元年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
無保険者等の健康診査	09-03-10	34,573	34,055	25,095	23,832	継続	継続	区民の健康保持と生活習慣病予防を進めるための事業であるため、継続して実施する。
肝炎ウイルス検診	09-03-11	8,771	9,592	4,506	4,991	継続	継続	肝炎ウイルスに感染している者を早期発見し、治療につなげる重要な事業であるため、継続して実施する。
35～39歳健診	09-03-12	7,194	6,872	4,436	4,316	改善・見直し	改善・見直し	40歳未満の健診について、引き続き調査検討を行い、事業の見直しを行う。
受託健診	09-03-13	14,724	9,599	8,261	3,046	改善・見直し	改善・見直し	新型コロナウイルス感染拡大に伴い令和2年度は健診中止。民間医療機関での受診が困難な対象者は本健診の必要性が高いため、密対策を行ったうえで、該当者を中心とした健診として、見直しを行う。
がん検診費	09-03-14	398,440	401,308	235,235	243,487	重点的に推進	重点的に推進	がん予防とがんの早期発見により、区民の健康づくりを推進するため優先度の高い事業であるため、重点的に推進する。
胃がんリスク検査（ABC検診）	09-03-15	18,267	17,582	12,580	12,981	推進	推進	ピロリ菌に感染している者を早期発見し、胃がんによる早世予防のための胃がん検診の事業であるため、推進する。
合計		578,860	582,021	311,034	318,857			